

桜台中だより



令和7年7月18日発行
白井市立桜台中学校

前期前半を振り返る

校長 堀 行伸

令和7年度がスタートして3ヶ月が過ぎました。年度はじめに示しました学校教育目標にどれだけ近づけたでしょうか？①では、主体的に授業に臨み、学び合い学習においても自分の考えを整理し、きちんと伝え合うことができている場面を多く見ました。3年生は、計画的な学習を…、応援しています。目標実現に向けて努力あるのみです。

②は、どうでしたか？できた人もたくさんいると思います。是非、自分の頑張りを認めてください。(成果が出なかった思ったことも、何かを考えただけでも大きな前進です)また、仲間の良さも認め、仲間の気持ちを思いやった言動ができると、人間関係がより豊かになり、人の温かさを感じることがができます。③暑い日が続きましたが、健康管理がよくでき体調を崩す人は少なく立派でした。課題は、落ちつかない生活で怪我をしてしまう、させてしまうようなことがありました。セルフコントロールを頑張りましょう。④清掃活動は、気持ちよく取り組める生徒がとて多くなりました。現在は、生徒会選挙、体育祭、秋桜祭に向けて、選挙管理委員、立候補者、各実行委員と、生徒の積極的な活動が学校中で見られます。準備段階から充実した取組、行事本番が今から楽しみです。

**「夢をもち、自ら伸びる心豊かな生徒めざす」
～未来に向けて、自ら考えよりよく判断して行動し、
なりたい自分になろうと努力する生徒～**

- ①意欲的に学び、生きた学力を持つ生徒(知)
- ②心豊かで、自他ともに大切にする生徒(徳)
- ③心も体も健康で、たくましく生きる生徒(体)
- ④自ら気づき、進んで働く生徒(奉仕・勤労)

新しい学校教育目標づくり

7月15日(火)に、生徒に以下のことを伝え、学校教育目標について考えてもらいました。

今回、学校教育目標をリニューアルします。その理由は、の桜台中学校の現状にあった目標や生徒像を、生徒・保護者・教職員・地域が考えることにより、学校に関わるすべての人がより主体的に役割を意識して取り組むことができ、目標達成に近づけると考えたからです。これを実現するためには、みなさんの「考え」や「力」が必要不可欠です。是非、力を貸してください。

今回、生徒に考えてもらったことは、①「理想の中学生」、②「なりたい大人像」、③「身につけたい力」です。①～③について、それぞれ10枚の付箋紙に考えを記入し、その後、小グループでまとめ、最後に全体共有する授業を行いました。さすが、中学生、発想力豊かで、理想的なことから現実的なことをよく考えた意見が出されました。



戦後80年、「平和」「戦争」について考える

今年の8月で第二次世界大戦・太平洋戦争が終わってから80年が経ちます。今、この世界情勢です。生徒にはこのタイミングで、今後の「世界の平和」「日本の平和」「戦争」について考えてもらいたいと思いました。そこで、社会科学習の一環として、7月の上旬に一週間、広島・長崎の原爆の資料を多目的スペースに展示するとともに、図書室にある平和や戦争に関する本の特設コーナーもつくりました。展示期間中、多くの生徒が多目的スペース

に来て、写真を見て、感じて、考えて、友達と意見交換

する等、「平和」・「戦争」を考える一歩となったようです。さらに夏休み期間は、テレビ、ラジオ、ネット等で、戦争についての特別番組等があると思います。見たり、聞いたり、読んだりして、平和について考えを深めてみてはどうでしょうか。

白井市では、今年から市内中学生が平和使節団として、8月4日から6日にかけて広島市を訪問することになりました。桜台中からは、3年生樋田潤美さん、2年生安達理晴さんの2名が参加します。現地では、原爆に関する資料・施設の見学や、全国の学生と平和についての意見交換を行い、最終日は平和記念式典に参加する予定です。

